

開催月日 : 平成26年8月26日(火)

平成26年度第2回  
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携推進会議

|  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

|      |   |    |              |
|------|---|----|--------------|
| 時間   | ①am / pm 10:00 ~ ①am / pm 11:00                     | 場所 | グッドライフケア文京支店 |
| 司会   | 濱崎  | 書記 | 流 奈津美        |
| 出席者  | 文京区福祉部介護保険課 : 1名                                    |    |              |
|      | 高齢者あんしん相談センター : 1名                                  |    |              |
|      | 民生委員・児童委員 副会長 : 1名                                  |    |              |
|      | 介護事業所 介護支援専門員 : 1名                                  |    |              |
|      | 居宅事業所 介護支援専門員 : 1名                                  |    |              |
|      | 訪問看護ステーション 管理者・看護師 : 1名                             |    |              |
|      | グッドライフケア訪問看護ステーション千代田管理者 : 1名                       |    |              |
|      | グッドライフケア24統括 : 1名<br>グッドライフケア24 管理者兼計画作成責任者 : 1名    |    |              |
| 会議内容 | 1. 開会挨拶<br>グッドライフケア24 統括 濱崎友子                       |    |              |
|      | 2. 参加者紹介<br>それぞれ自己紹介していただく                          |    |              |
|      | 3. 26年5月～26年7月までのサービス提供状況報告<br>グッドライフケア24 管理者 今口 友紀 |    |              |
|      | 4. 意見交換   |    |              |
|      | 5. 閉会の挨拶<br>グッドライフケア訪問看護ステーション千代田 管理者 鈴木直美          |    |              |
|      |   |    |              |

|   |
|---|
| 詳細  |
| 2. 参加者紹介<br>出席者参照   |
| 3. サービス提供状況報告<br>サービス開始から本日までの利用者の状況の報告(別紙参照)<br>サービスの提供状況の報告   |
| 4. 意見交換<br>夜間の対応が増えてきているが、負担があるのではないかと。(望月様)<br>→夜間対応できる介護士は3名、オペレーター8名いるが、3交代で対応している。<br>ケアマネジャーとも相談し、時間をずらさせていただいている。<br>今現在の状況としては1日当たり4名で対応しており、あと1～2ルートは対応できる。 |
| ・服薬確認や排泄介助は短時間で対応できるが、透析の送り迎え、入浴の介助は長くなってしまうの   |

|   |
|---|
| では。(望月様)  |
| →入浴の方は最大でも1時間とっており、長すぎるということはない。  |
| 透析の送り迎えに関しては行きも帰りもだいたい30分ぐらいで終了している、透析やデイサービスの送り出しなどは時間が決まってしまうため厳しいところがある。   |
| 今現在も待って頂いている方がおり、その方はおんぶをして階段の昇り降りをする為、男性対応を希望、定期巡回を希望して頂いているが、対応出来ないため元々入って頂いていた訪問介護で対応していただいている。  |
| 対応出来る状態になったら定期巡回へ移行予定。  |
| ・現在ご利用者様が10名程いらっしゃいますが、今後ご利用者様が増えてきた場合は(45名となっております)介護士を増やしていただくなどして対応して頂けるのでしょうか。(中山様)   |
| →がんばって対応させていただきます。  |
| ・定員は45人なんですか。   |
| →定期巡回だけで考えた時に黒字化できる人数というのがだいたい45人とみている。   |
| 介護度にもよるので、一概に45人いるからいい。ということでは無いが目指すところとしている。   |
| ・事例のケースの連携のことですが、末期がんで、医師も戻っても緊急事態があり得ることをわかっているはずだが、その状況で託されて、連絡したいけど連絡ができなかったのは理解しづらい。  |
| 受け入れてからの情報はどのようにしていたのか。(朱宮様)  |
| →基本的にはファックスでやりとりをおこなっていた。   |
| 緊急連絡先はご自宅にあったので、確認をして連絡をしていた。   |
| 対応した看護師がいつもの看護師ではなく、緊急の者が対応した為連絡先の確認が不十分だったので連絡がつかなかったのではないかと。基本的には連絡がつかないということではなかった。  |
| ご自宅に連絡先はあったが平日の日中にかける電話番号だけであった。「緊急時や土日夜間の連絡先がどこかにないですか。」と確認したのが、娘様は「そんなものは聞いていない。」とおっしゃり、ヘルパーが訪問しても電話番号を得ることが出来なかった。                                     |
| この方は、退院時に退院した病院から訪問看護指示書をいただいていた。   |
| 訪問看護は指示書で動いていた。往診の先生からは連絡先を一応確認していたが、基本的には指示書をいただいた先生に指示をいただく。としているため連携がうまく行かなかった原因のひとつでもある。初回に訪問した際にご家族様に先生の緊急連絡先を確認したところ「知っている。」とのことだった。複数の要因が重なってしまった。 |
| ・指示書は退院時に退院した病院からでると思うのですが、退院後訪問診療が必ず入ってくるが何かあった場合は指示書を出した先生に確認するべきではないかと。  |
| →本来は報告は指示書の先生にしなければいけないが、往診の先生が入っていた場合、現状に即した指示などは往診の先生の方にしている。その旨はご家族とご本人様と先生に確認していた。  |
| ・事例ケースの方のご自宅に伺って娘様ときちんとやりとりをしたのか。(元安様)  |
| →最初の連絡で(8日)に鈴木(グッドライフケア訪問看護)が近くにいたため、娘様に「今行けるので行きます。」と伝えしたが、「今落ち着いているので今日は大丈夫です。」とのことだった。   |
| この経過でいくのであれば、という状況もあったので訪問していなかった。  |
| お伺いして、予測できる状況を説明したほうがよかった。  |
| 娘様の末期がんに対する理解が、「こんな急に悪くなると思わなかった」、「こんな状態で仕事に行ってられない。」という印象があった。   |
| 当日は、ご本人様の状況では在宅に置いておけない。と判断し訪問医の先生には許可を取って  |

|  |
|--|
| <p>いなかったが、入院していただいたほうがご本人様の為にも娘様の為にもいいのではと判断した。往診医の先生には「連絡の行き違いでつながらなかった為、看護師の判断で病院に連絡し入院依頼させていただきました。」と連絡した。</p> <p>娘様のイメージ通りに行かなかったのではないか。退院時の説明が不十分だったのではないか。グッドライフケア24としても、娘様が病院からどのような説明をうけて帰ってきているのか、どのくらいの気持ちで在宅に戻ろうと考えているのかを病院にいるうちに把握をして、準備をし受け入れることが必要 だったのではと思った。</p>   |
| <p>・介入した際に先生から話をもらえなければ、ご家族様からどこまで話があったのか確認しないといけない。それすらもわからないようなら先生に直接問い合わせをしたほうがいいのではないか。(望月様)</p> <p>・事例ケースの方のケアマネジャーは退院時どのような対応をされたのか。</p> <p>→ケアマネジャーとは最初ご自宅でご本人様はいない状態でお会いした。退院時は介護、看護、ご本人様、娘様と一緒に会いした。</p> <p>もともとケアマネジャーは入院される前から関わっていらっしやった。</p>  |
| <p>・退院に向けての覚悟は聞いていたのですか。</p> <p>→覚悟に関しては、口では言っていた。ちぐはぐなところはある、受け入れきれないような感じがした。</p> <p>・ターミナルとしていろいろと想定をしなければいけないが、娘様の容量が超えているような感じがする。(望月様)</p> <p>→娘様のなかで、何かあればホスピスにすぐ入院というイメージがあったが、状態変化が早すぎたこともありオーバーしてしまったような感じがした。</p>   |
| <p>・退院が決まってすぐ在宅に戻ってくるなど、退院までの時間が短いケースはありますか。(望月様)</p> <p>→あります。3・4日で帰ってこられるというケースや、明日退院という場合もある。</p>   |
| <p>・民生委員は直接事業所さんに話を持っていく事がないので、通常の流れはどのようになっているのか。(朱宮様)</p> <p>→包括、ケアマネジャー経由で依頼が来ている。</p> <p>サービス内容が少しずつ違うので、民生委員さんの集まりの中で説明して欲しい。というような事があれば、説明に伺うことはできる。</p> <p>民生委員さんから直接「こういった方がいるんだけどどうしたらいいんだろう」というようなご相談をいただいた事がある。一事業所として「じゃあグッドライフケアで」とお答えすることはできないが、「包括へご相談してください。」と伝えしている。その後、包括へ連絡しこういう方の相談をうけたので、連絡がいくかもしれないと伝えている。</p> |
| <p>名取様より</p> <p>ターミナルのケースですが、私達の中ではたくさん事例の一つですが、ご家族にしてみれば家族の一人が亡くなるかどうかデリケートな部分のお話で、「1回聞いた」とか「病院で聞いた」とかで私達と同じ認識では無いとは思っていない。だからなんとか時間をかけるとか、丁寧な説明するとか相手の言いたいことをある程度聞く。そういうことをケアマネジャーが聞いたりする場合もあるでしょうし、介護士や看護師がする場合もあるでしょう。ご家族様も取り乱したりする方もいますので、私達が慣れることがないようにした方がいいと感じた。</p>   |